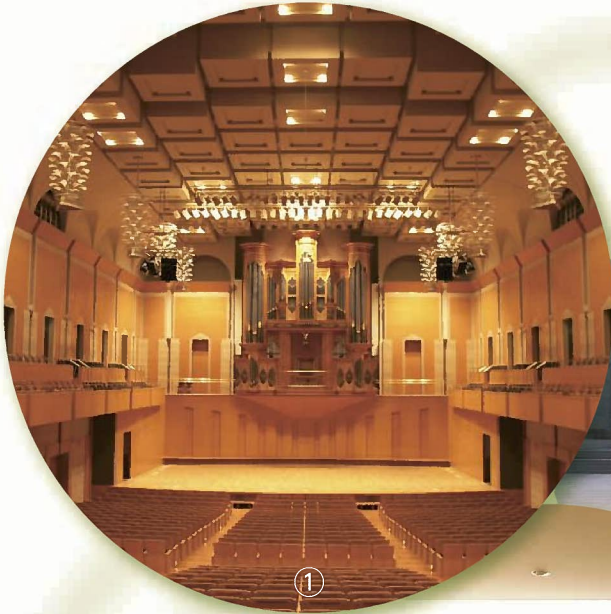


とよた市議会だより



①



②



③



④



⑤



⑥

①コンサートホール ②産業文化センター ③喜楽亭 ④市民文化会館 ⑤歌舞伎伝承館 ⑥能楽堂

目次

■ トップインフォメーション 常任委員会について	2
■ 議案説明	4
■ 議案審議結果	4
■ 討論	6
■ 常任委員会	7
■ 一般質問 市政を問う! 15人の議員が質問	9
■ トピックス	
新型コロナウイルス感染症対策	12

表紙の写真 (議案第154号から第173号関連)

今定例会では表紙の写真を含めた各施設における指定管理者を指定しました。指定管理者制度は、市民サービスの向上と施設の効率的な管理運営を図るため、民間の事業者・団体等を指定して公共施設を管理する制度です。

定例会号

12月市議会

令和3年2月1日



常任委員会について

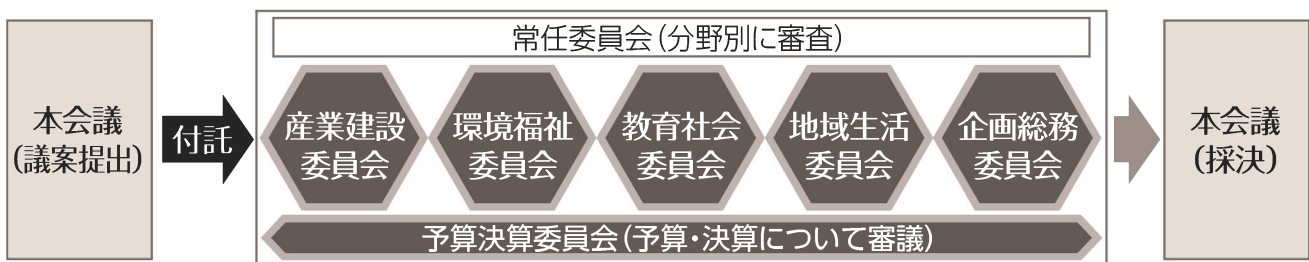
市政は範囲が広く内容も複雑なため、市議会では予算決算委員会のほか、5分野（企画総務、地域生活、教育社会、環境福祉、産業建設）の常任委員会を設け、議案を付託※して分野別に詳しく審査しています。

委員会で審査された結果は、本会議において委員長より報告され、議案の賛否を採決しています。

※付託：詳しい話し合いの場に委ねること。



委員会での議案審査の様子（令和2年度）



◆ 常任委員会における議案審査

委員会名	令和2年12月定例会で審査された主な案件 (抜粋)
産業建設委員会	<ul style="list-style-type: none"> 市営住宅条例等の一部改正等：市が独自に建設した住宅を公営住宅に準じて運用する改正等 工事請負契約の締結：都市計画道路高橋細谷線道路改良工事（長興寺第1工区その1・その2）、花園土地区画整理事業4号調整池築造工事に係る契約締結
環境福祉委員会	<ul style="list-style-type: none"> 財産の取得：地域医療センター乳房X線撮影装置の購入
教育社会委員会	<ul style="list-style-type: none"> ひとり親家庭等支授手当支給条例の一部改正：新型コロナウイルス感染症の影響等による受給資格の申請の遅延等に対応 子ども・子育て支援法施行条例及び市立保育所条例の一部改正：保育料の軽減
地域生活委員会	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者の指定：猿投コミュニティセンター体育館及び武道場はじめ11件の指定管理者の指定
企画総務委員会	<ul style="list-style-type: none"> 地域自治区条例等の一部改正：対面による会議開催が困難な場合に書面等による会議の特例を創設 名誉市民の推挙：本市発展に特別の功労があった市民の推挙
予算決算委員会	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度一般会計補正予算：新型コロナウイルス感染症対策費等の補正予算

議案説明・議案審議結果はP.4・5、委員会質疑の内容はP.7・8をご覧ください。



市議会報告会兼意見交換会

常任委員会は、議案の審査だけでなく、各分野に係る重要な事柄について、調査を行っています。豊田市議会では、平成29年度から5つの常任委員会ごとに毎年テーマを決め、関係団体との市議会報告会兼意見交換会を行っています。

各団体の想いや意見を確認させていただき、今後の議会活動や豊田市のまちづくりに生かしていきます。

産業建設委員会

開催日：令和2年10月28日
意見交換団体：豊田森林組合
テーマ：豊田市林業の課題と将来性

人材育成に関することや森林環境譲与税の使い方など、林業に関する課題や今後に向けて必要な支援等について意見が交わされました。

環境福祉委員会

開催日：令和2年10月21日
意見交換団体：豊田市介護サービス機関
連絡協議会

テーマ：コロナ禍における介護事業所運営の課題
コロナ禍における各介護事業所の対応や懸案事項、工夫した点、また今後の人材確保について意見が交わされました。

教育社会委員会

開催日：令和2年11月4日
意見交換団体：地域スポーツクラブ3団体
テーマ：これからの地域スポーツのあり方と課題

地域スポーツクラブの現状と課題について、運営面や後継者の育成、子どもへの支援などを中心に意見が交わされました。

地域生活委員会

開催日：令和2年10月29日
意見交換団体：豊田市消防団
テーマ：女性消防団の活躍と課題

女性消防団のさらなる活躍に向けて、環境の整備、活動場所の提供、人員を確保するための広報活動などについて意見が交わされました。

企画総務委員会

開催日：令和2年10月27日
意見交換団体：とよたSDGsパートナー6団体
テーマ：SDGsの推進に向けた取組と今後の展開

とよたSDGsパートナーと、SDGsの推進への取組内容及びその課題、推進に向けた今後の展開について意見が交わされました。



市議会報告会兼意見交換会の様子



条例の一部改正、補正予算など48議案を議決

保育料の軽減による安心して生み育てられる支援体制の充実

【議案第134号】子ども・子育て支援法施行条例及び市立保育所条例の一部改正条例

子育てに伴う経済的な不安を解消するため、保育料を年収360万円未満相当の世帯を無料とするなど、すべての階層において軽減の見直しを行い、安心して生み育てられる支援体制の充実を図ります。

新型コロナウイルス感染症対策費などを補正

【議案第139号】令和2年度一般会計補正予算

新型コロナウイルス感染症対策費として、かかりつけ医等の地域で身近な医療機関で行う新型コロナウイルス検査費用等や、衛生試験所で行う新型コロナウイルス検査に必要な検査試薬等の費用を増額しました。このほか、「道の駅どんぐりの里いなぶ」の再整備費などの補正予算を議決しました。



道の駅どんぐりの里いなぶ

12月市議会定例会に提出された案件

※議案名など一部省略して記載しています

採決結果	会派別賛否				※自民クラブは議長を除く			
	自民クラブ 27名		市民フォーラム 10名		公明党 4名		諸派 3名	
	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対

◆議案	採決結果	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対
第129号 地域自治区条例等の一部改正条例	原案可決	27	0	10	0	4	0	3	0
130 市職員のサービスの宣誓に関する条例の一部改正条例	//	27	0	10	0	4	0	3	0
131 固定資産評価審査委員会条例の一部改正条例	//	27	0	10	0	4	0	3	0
132 手数料条例の一部改正条例	//	27	0	10	0	4	0	3	0
133 ひとり親家庭等支援手当支給条例の一部改正条例	//	27	0	10	0	4	0	3	0
134 子ども・子育て支援法施行条例及び市立保育所条例の一部改正条例	//	27	0	10	0	4	0	3	0
135 国民健康保険税条例の一部改正条例	//	27	0	10	0	4	0	3	0
136 公設地方卸売市場条例の一部改正条例	//	27	0	10	0	4	0	3	0
137 都市計画事業豊田土橋土地区画整理事業施行規程等の一部改正条例	//	27	0	10	0	4	0	3	0
138 市営住宅条例等の一部改正等条例	//	27	0	10	0	4	0	3	0
139 令和2年度一般会計補正予算	//	27	0	10	0	4	0	2	1
140 // 国民健康保険特別会計補正予算	//	27	0	10	0	4	0	2	1
141 // 都市計画事業土地区画整理特別会計補正予算	//	27	0	10	0	4	0	2	1
142 // 分譲住宅建設事業特別会計補正予算	//	27	0	10	0	4	0	2	1
143 // 卸売市場特別会計補正予算	//	27	0	10	0	4	0	2	1
144 // 介護保険事業特別会計補正予算	//	27	0	10	0	4	0	2	1
145 // 後期高齢者医療特別会計補正予算	//	27	0	10	0	4	0	2	1
146 工事請負契約の締結(市民文化会館電気設備修繕工事)	//	27	0	10	0	4	0	3	0
147 // (市民文化会館空調設備修繕工事)	//	27	0	10	0	4	0	3	0
148 // (花園土地区画整理事業4号調整池築造工事)	//	27	0	10	0	4	0	3	0
149 // (都市計画道路高橋細谷線道路改良工事(長興寺第1工区その1))	//	27	0	10	0	4	0	3	0
150 // (都市計画道路高橋細谷線道路改良工事(長興寺第1工区その2))	//	27	0	10	0	4	0	3	0
151 // (市立朝日丘中学校旧校舎解体・外構整備工事)	//	27	0	10	0	4	0	3	0
152 財産の取得(地域医療センター乳房X線撮影装置)	//	27	0	10	0	4	0	3	0
153 調停の成立(工作物等撤去土地明渡等調停申立事件)	//	27	0	10	0	4	0	3	0
154 指定管理者の指定(歌舞伎伝承館)	//	27	0	10	0	4	0	3	0



議案審議結果

～とよた市議会だより～

令和2年

12月
定例会号

12月市議会定例会に提出された案件

※議案名など一部省略して記載しています

採決結果	会派別賛否 ※自民クラブは議長を除く	会派別賛否								
		自民クラブ 27名		市民フォーラム 10名		公明党 4名		諸派 3名		
		賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	
第155号	指定管理者の指定 (喜楽亭)	原案可決	27	0	10	0	4	0	3	0
156	// (総合野外センター)	//	27	0	10	0	4	0	3	0
157	// (猿投コミュニティセンター体育館及び武道場)	//	27	0	10	0	4	0	3	0
158	// (石野運動広場ほか5施設)	//	27	0	10	0	4	0	3	0
159	// (教職員会館テニスコート)	//	27	0	10	0	4	0	3	0
160	// (市民文化会館)	//	27	0	10	0	4	0	3	0
161	// (コンサートホール・能楽堂)	//	27	0	10	0	4	0	3	0
162	// (交流館)	//	27	0	10	0	4	0	3	0
163	// (石畳ふれあい広場)	//	27	0	10	0	4	0	3	0
164	// (浅野会館)	//	27	0	10	0	4	0	3	0
165	// (小原北部生活改善センター)	//	27	0	10	0	4	0	3	0
166	// (老人憩の家あさひ荘)	//	27	0	10	0	4	0	3	0
167	// (敷島農村環境改善センター敷島会館)	//	27	0	10	0	4	0	3	0
168	// (築羽農村環境改善センター築羽会館)	//	27	0	10	0	4	0	3	0
169	// (足助トレーニングセンターほか3施設)	//	27	0	10	0	4	0	3	0
170	// (小原トレーニングセンター及び緑の公園)	//	27	0	10	0	4	0	3	0
171	// (笹戸生活改善センター笹戸会館)	//	27	0	10	0	4	0	3	0
172	// (産業文化センター及び青少年センター)	//	27	0	10	0	4	0	3	0
173	// (上郷公園)	//	27	0	10	0	4	0	3	0
174	豊橋市・岡崎市・豊田市小児慢性特定疾病審査会を組織する地方公共団体の数の増加及び同審査会の共同設置に係る規約の変更に関する協議	//	27	0	10	0	4	0	3	0
175	名誉市民の推挙 (藤嶋昭氏)	//	27	0	10	0	4	0	3	0
176	市会計年度任用職員の報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正条例	//	27	0	10	0	4	0	2	1
◆承認										
第18号	専決処分の承認 (市職員給与条例及び市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部改正条例)	承認	22	0	10	0	0	0	2	1
19	// (市議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正条例)	//	22	0	10	0	0	0	3	0
20	// (市特別職職員の給与を定める条例の一部改正条例)	//	22	0	10	0	0	0	3	0
◆同意										
第9号	人権擁護委員の推薦 (再任: 加藤昭孝氏、佐藤祐子氏/新任: 猪塚美佐子氏、岩附まゆみ氏、小笠原政巳氏、三宅八千代氏)	同意	27	0	10	0	4	0	3	0
◆報告										
第13号	専決処分の報告 (損害賠償額の決定9件、和解の成立1件、訴えの提起5件、補正予算1件、製造請負契約の変更1件)									
14	// (補正予算1件)									
◆請願										
第2号	介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての請願書	不採択	0	27	0	10	0	4	1	2
◆陳情										
第4号	安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための陳情書									
◆議員提出意見書*										
第4号	「新過疎法」の制定を求める意見書 (案)	原案可決	27	0	10	0	4	0	3	0

※意見書: 市の公益に関することについて意見をまとめ、国や関係府庁に提出する文書 (P.6をご覧ください)



討論

12月市議会定例会最終日に各委員会審査の委員長報告を受けて、各党派等が賛成、反対の意見を述べ、賛同を求めました。*発言順に記載

根本美春 諸派

職員人件費減額など問題であり、一般会計補正予算に、反対

議案第139号：反対。職員人件費について、期末手当の減額に反対。民間労働者の賃下げにつながり、消費税増税や新型コロナ危機のもと、地域経済にも影響を及ぼす。企業版ふるさと納税は、地方税の原則を曲げた制度を利用する点が問題。保健衛生費の設備整備費等に関しては、コロナ禍では、オンライン資格確認のシステム導入への多額の設備投資よりも医療機関の減収補填策、医療従事者増員の抜本的対策が必要。以上のことから、反対。

羽根田利明 自民クラブ

オンライン資格確認システム導入は利便性の向上等につながり、賛成

議案第139号：賛成。保健衛生費の補正は、国が進める医療機関・薬局で健康保険証のオンライン資格確認の導入方針に基づく。システム導入のメリットは、マイナンバーカードが健康保険証として利用できることで、医療機関等における受付時間が短縮され、受診患者の利便性の向上や医療スタッフの負担軽減につながる。また高齢受給者証などオンラインで資格確認が可能となる。マイナンバーカードの普及促進につながることも期待でき、賛成。

吉野英国 市民フォーラム

子育て支援の拡充が、まちの魅力向上に寄与することを期待して、賛成

議案第134号：賛成。子ども・子育て支援法施行条例及び市立保育所条例の一部改正については、安心して生み育てられる支援体制の充実を図る取組において、乳児の保育料を近隣市よりも低く設定。子育てに対する経済的な不安を軽減する、子育て世帯に寄り添った取組であることを確認した。こうした施策が少子化対策につながるとともに、豊田市の強みである子育て支援の拡充が、更なるまちの魅力向上に寄与することに期待し、賛成。

田代研 公明党

安心して乳がん検診を受診できる環境が整うことから、賛成

議案第152号：賛成。今回取得する機器は、主に健診で使用され、健診実施時間内に検査を完了するためには2台での運用が必要であることから、2台同時の更新となる。また、従来よりも圧迫板にかかる圧力が分散できることから、健診の際の痛みが抑えられ、被ばく量の低減や、検査時間の短縮、高画質な撮影が可能になるなど機能の向上により市民が安心して受診できる環境が整う。乳がん検診受診率のさらなる向上を期待し、賛成。

岡田耕一 諸派

審議会等について、書面等による会議の特例を設けることに関し、賛成

議案第129号：賛成。審議会等を書面により採決する場合、各委員に採決の結果を通知すること。必要に応じて質疑・意見の応答が繰り返されることで、複数日となった場合の報酬の取り扱いについても今後検討を進めること。すべての審議会等にウェブ会議開催に必要な環境が整っているわけではないが、適宜状況を判断しながら進めること。改正後の各条例の規定は、令和2年4月1日に遡って適用すること。以上を妥当と認め、賛成。

中島竜二 諸派

市営住宅の整理再編を実施し、家族形成期世代への支援も拡充されることから、賛成

議案第138号：賛成。市営住宅における空き住戸が拡大されているところがあるため、今回の改正により、例えば、新婚者向け住宅の「すまいる聖心」にも高齢単身者等住宅確保要配慮者が住めるようになるなど、市営住宅の整理再編を実施するという点で評価できる。また、入居条件の緩和などの家族形成期世代への支援が拡充されるという点も評価できる。総合的にみても市民にとってメリットが大きいと理解し、賛成。

議員提出意見書

「新過疎法」の制定を求める意見書

過疎地域はわが国の国土の大半を占め、豊かな自然や歴史・文化を有し、都市に対する食料・水・エネルギーを供給し、森林による地球温暖化の防止など、大きな役割を果たしている。しかしながら、過疎地域では人口減少と少子・高齢化が急激に進み、集落が消滅の危機に瀕するなど、わが国の国土保全上、極めて深刻な状況に陥っている。

いわゆる「平成の大合併」は、地方分権一括法等による分権改革の理念のもと、多くの自治体が合併

を進めてきたものであり、本市においても、平成17年に過疎地域を含む周辺自治体との合併を行い、市域918km²の約5割を過疎地域が占める広域自治体となった。以来、過疎地域自立促進特別措置法や様々な制度を活用し、分権の担い手として求められる「行財政基盤を有するとともに地域の総合的な行政主体としての基礎的自治体」の形成に努力を重ねているところであるが、人口や地理的条件等の克服において未だ過疎への対応が求められる状況にある。

よって、国会および政府におかれては、過疎対策を更に推進するため、下記の点について強く求める。

記

- 1 令和3年3月末をもって失効する現行の「過疎地域自立促進特別措置法」に代わり、「新過疎法」を制定すること。
- 2 「新過疎法」の制定にあたり、特に現行法第33条第2項の規定にかかる過疎地域の指定については、合併後の市町村に基づく基準を導入することなく、引き続き合併前の市町村単位での基準によるものとする。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。
令和2年12月21日 豊田市議会



常任委員会とは

常任委員会とは、地方公共団体の議会が地方公共団体の事務に関する調査、議案及び請願等の審査を行わせるために、条例で定め常設する委員会のこと。本市では、6委員会が常任委員会となります。

委員会

産業建設 委員会

12月10日、付託された8議案を審査し、議案のすべてを全会一致で承認しました。

【第138号】市営住宅条例等の一部改正等の条例

質問 公営住宅に準ずる住宅とすることで、どのような利便性を向上させ、利用状況を改善させるのか。

答弁 新婚者要件や入居期間の制限が無くなり、所得に応じた低廉な家賃とすることなど利便性の向上が図られ、今後、増加が見込まれる住宅確保要配慮者への住戸を提供することで、空き住戸を活用し利用状況の改善が見込まれる。

【第149号・第150号】
工事請負契約の締結(都市計画道路高橋細谷線道路改良工事(長興寺第1工区その1・その2))

質問 4車線化に向けて、竜宮橋を含め、今後どのような手順で工事を進めていくのか。

答弁 新設竜宮橋は、上部工の架設が完了後、橋面部の仕上げを行い令和3年度末に完成する。

この工程に合わせ、新設橋りょう前後に取り付ける道路部を整備し、新設側に交通を切り替え、既設竜宮橋を含む現道側の改良工事に着手する予定である。

次に同工区・その2工事は、本線と長田川が2か所で交差しており、道路拡幅と並行して河川改修を行う。この工事では既設道路に影響を及ぼす大規模な掘削等が伴うため、仮設の迂回路を設け、交通を切り替えながら段階的に整備を行う。

なお4車線化整備は、令和6年度末完了を目標に事業を進めていく。

環境福祉 委員会

12月11日、付託された2議案を審査し、議案のすべてを全会一致で承認しました。請願1件は不採択としました。

【第152号】財産の取得(地域医療センター乳房X線撮影装置)

質問 本装置は、健康診断用としても使用を予定されているが、南棟健診部門の改築工事において、どのようなタイミングで納入されるのか。

答弁 南棟健診部門の改築工事は令和3年5月までで、令和3年6月には、開院を予定している。機器の納入作業は、工事と並行して進める予定で、機器の手配を行い、内装工事が概ね完了した段階から、機器の搬入を進める予定である。搬入後は、機器の詳細設定を行い、開院に間に合うよう、令和3年5月末までに納入を完了する予定である。

【第174号】豊橋市・岡崎市・豊田市小児慢性特定疾病審査会を組織する地方公共団体の数の増加及び同審査会の共同設置に係る規約の変更に関する協議

質問 審査会の共同設置による事務的経費について、負担割合の考え方および一宮市の追加による影響はどのようなか。

答弁 事務的経費はほとんどが審査会委員報酬であり、その負担は単純な均等割りにより案分している。

令和3年度の審査会委員報酬を試算すると総額230万4,000円の予算となるが、現状の3市で案分した場合1市当たり76万8,000円の負担となる。4市で案分することで1市当たり57万6,000円の負担となり、一宮市の追加により19万2,000円の減額が見込まれる。

教育社会 委員会

12月14日、付託された13議案を審査し、議案のすべてを全会一致で承認しました。請願1件は不採択としました。

【第151号】工事請負契約の締結(市立朝日丘中学校旧校舎解体・外構整備工事)

質問 令和2年12月から令和3年11月に及ぶ長期的な工期であるが、生徒への安全確保をどのように行うか。

答弁 工事期間中に必要な箇所にガードマンを配置させるほか、工事車両の出入りを1か所に限定するとともに、生徒の通学時間帯を避けることを徹底することで動線の交錯を防ぎ、安全を確保していく。

【第156号】指定管理者の指定(総合野外センター)

質問 指定管理者総括評価において、利用団体アンケート及び利用者懇談会等で利用者の声を聞いているとのことだが、主な声はどのようなか。

答弁 利用団体アンケートは、令和元年度に202団体にに対し実施したほか、利用者懇談会を令和元年12月と令和2年1月に開催している。

利用者の主な声として、自然体験活動の充実に対する意見があり、魚のつかみ取りやスタンプラリーなどの企画につなげている。

また、雨天時の臨機応変なプログラム変更を評価する声もあり、安全面に配慮したサポート体制の充実が図られている。



委員会

地域生活

委員会

12月15日、付託された11議案を審査し、議案のすべてを全会一致で承認しました。

【第163号】指定管理者の指定(石畳ふれあい広場)

質問 本施設の特徴として温泉を利用した足湯があるが、指定管理者である藤岡石畳地区地域づくり協議会はこの資源をどのように利活用して管理運営を行っているか。

答弁 豊田マラソンなど集客性のあるイベントに出向き、その場で足湯を体験できるセットを持ち込んだの出張足湯を開催し、施設のPRに取り組んでいる。

また、ウォーキング大会やマレットゴルフ大会、足湯につかりながらの読み聞かせなどのイベントを企画し、幅広い世代に足湯を楽しんでもらう機会を設けるなど、施設の特徴を生かした利用拡大に向けた管理運営を行っている。

【第170号】指定管理者の指定(小原トレーニングセンター及び緑の公園)

質問 今後の利用者数の増加に向けた取組はどのようなか。

答弁 指定管理者の選定にあたり、課題懸案事項として、より多くの地域住民が施設に足を運ぶ機会の創出に関して、具体的な提案を依頼した。このことを受けて、指定管理者からは、福祉関連の自主事業の企画提案をいただいている。

具体的には、社会福祉協議会と連携した各種講座の開催や、小原シルバー会員による地域交流を図る事業など、シルバー人材センターのネットワークを生かした企画提案があり、今後の事業展開に期待している。

企画総務

委員会

12月16日、付託された7議案を審査し、議案のすべてを全会一致で承認しました。請願1件は不採択としました。

【第129号】地域自治区条例等の一部改正条例

質問 今後、ウェブ会議とよばれる遠隔会議の整備推進等を図っていく予定、方針はあるか。

答弁 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、いわゆる新しい生活様式の中で、感染機会を減らす手法の一つとして、ウェブ会議の活用が推奨されており、本市としても積極的に推進すべきであると考えている。

現状については、すべての審議会等の委員がウェブ会議に対応できる環境を持っているとは限らないことから、当面はそれぞれの審議会等において、可能性を判断しながら進めていくことになると考えている。

【第132号】手数料条例の一部改正条例

質問 とよたiマップ導入の経緯と利点、効果はどのようなか。

答弁 現在、土地に関する図面の閲覧サービスとして、市民課と旧町村支所で交付している地籍図のほか、地図情報システムから紙に打ち出した地番図があり、それぞれ毎年更新している状態である。これらを、地図情報システムを利用した地番参考図情報に一本化し、豊田市公式ウェブサイト内のとよたiマップへ掲載し、公開することとした。

これにより、市民はインターネット環境があれば、いつでも閲覧・印刷することが可能となり、利用者の利便性が向上する。

予算決算

委員会

12月9日から18日に付託された補正予算7件を審査し、すべての案件を承認しました。

【第139号】令和2年度一般会計補正予算

質問 豊田おいでんまつり開催負担金について減額しているが、残りの使途はどのようなか。

答弁 開催できなかった第52回豊田おいでんまつりだが、準備事務や協賛受付、グッズ制作等の業務委託が一部進んでおり、その部分にかかる支払いと、令和3年9月に開催予定の第53回豊田おいでんまつりに関する準備事務等の業務委託費用の支払いを予定している。

質問 道の駅どんぐりの里いなぶの再整備に至った経緯と目的についてどのようなか。

答弁 どんぐりの里いなぶは、平成10年4月に旧北設楽郡稲武町が、健康増進施設としてどんぐりの湯を開設し、平成11年3月に農林水産物直売施設としてどんぐり横丁を開設した。平成23年には、豊田市がどんぐりの湯改修工事を実施し、平成27年1月には、地域活性化の拠点となる重点道の駅に国土交通省より選定された。

選定後には、交通結節点の整備などの取組を行ってきたが、今回の再整備はその集大成として位置づけている事業である。品数の豊富さと買いやすさを強化し、より多くの方に利用していただくとともに、地元生産者の生産意欲を向上させ、地域の活性化に寄与することを目的としている。



市政を問う!

12月7日から9日にかけて、15人の議員が市政の方針や考え方などについて問う「一般質問」を行いました。その質問と答弁の一部を要約して掲載します。

一般質問

都築 繁雄

自民クラブ



●これからの時代を見据えた豊田市の学校教育

質問 本市の教育の現状と今後の方針

これからの時代を生きる子どものために、今後の豊田市の学校教育について市長の考えを問う。

答 弁 市長

新しい時代の学びの環境を実現することを目指す。1つ目は「少人数学級のさらなる推進」で、令和3年4月から30人学級を試行していく。2つ目は「部活動の改革」で、令和3年度から地域の力を活用したモデル実施を行い、令和5年度には教員が指導する休日の部活動を原則実施しない方針に切り替える考え。3つ目は「ミライのフツー」につなげる「GIGAスクール構想の推進」。一人1台のタブレットの有効活用を図っていく。地域ぐるみの教育をより一層進め、強い決意で豊田市の教育改革を進めていく。

中村 孝浩

市民フォーラム



●第8次豊田市総合計画後期実践計画策定に向けて

質問 今後の方向性

今後の様々な課題に対して、来年度から始まる後期実践計画の4年間でどのように進めていくのか。市長の想いを問う。

答 弁 市長

高齢化、施設の老朽化、基幹産業における大きな変革、新型コロナウイルス感染症や気候変動などの課題に着実に対応していく。新型コロナウイルス感染症への対応については、市民生活、社会活動への影響を最小限にとどめるべく、全力を挙げ取り組んでいく。ポストコロナを見据え、本市の

持つ強みと社会のデジタル化など変化を生かす視点で、新たな施策を展開していく。WE LOVE とよたの精神で一致団結して取り組んでいきたい。

鈴木 章

自民クラブ



●持続可能な山村を目指す新たな条例の制定
○中心市街地活性化の進捗と現状

質問 条例に盛り込まれるべき条文の内容

山村エリアに限った小規模企業振興基本条例の内容を盛り込むことで、実効性が高い条例になると考える。市長の想いを問う。

答 弁 市長

山村地域の価値に着目し、地域への誇りと愛着を再認識する機会となるような条例を目指したい。持続可能な山村地域づくりの実現に向けて、全市民的に目指すべき基本的な理念を規定した上で、具体的に施策を展開していく上での基本計画を定めることなどを想定。小規模事業者は、地域経済の主体であり、共働によるまちづくりの主体として重要な役割を担っていると認識している。市民検討委員会などの協議を経ながら、山村地域の状況を踏まえ、具体的に検討していきたい。



山村地域の風景

中島 竜二

諸派



●本市における自殺防止対策

質問 学校教育における取組

学校教育における命を大切にす取組強化の考え方について、今年

の状況を踏まえた上で今後の考えを問う。

答 弁 教育部

今年度の取組としては、新型コロナウイルス感染拡大による児童生徒の心の不安や不調の対応として、「臨時休校による子どものケアに関する情報」を保護者に通知。スクールカウンセラーを基本的に小学校は週1日、中学校は週2日配置されるように増員し、児童生徒数200人以上の学校には、心の相談員を一律配置。パルクとよたには、スーパーバイザーを新たに配置。児童生徒の命を守るために、命を大切に教育、教育相談体制等の充実に努めていく。

岡田 耕一

諸派



●本市における懸念される継続案件
○犬猫の殺処分ゼロを目指して

質問 北一色町無農薬農園造成案件

不適切な開発事案が再発しないための条例、規則の改正、新規条例制定を再度求める。所見及び進捗状況を問う。

答 弁 都市整備部

開発事業に係る手続等に関する条例の実行性向上に向けた評価・検討を行い、土石採取や残土搬入などについて、運用方法を4点見直した。1点目は、事業目的の段階的な設定と承認。2点目は、周辺住民説明の前に、市への報告を事業者に求める。3点目は、パトロール体制の強化。4点目は、違反事案発生時の県との連携体制の強化。条例・規則等の改正や、新たな仕組みづくりについては、実情を注視しつつ、分析評価を進めた上で判断していく。



市政を問う!

議員氏名
会派名



○一般質問の大きなテーマ(大項目)
●以下の質問に関連している項目

倉山和之

市民フォーラム



●医療的ケア児の地域生活支援体制

質問 幼稚園と学校の支援体制

訪問看護ステーションから看護師が週1回小学校に派遣されているが、学校における今後の医療的ケアの対応について考えを問う。

答 弁 教育部

医療的ケア児の教育的ニーズや保護者の意向が多様化していることから、今後、地域の学校への就学を希望する医療的ケア児の増加が予想される。医療的ケア児が地域の学校に就学するためには、保護者の負担を軽減する必要があると考える。そこで、訪問看護ステーションに委託している看護師派遣について、今後は週当たりの実施回数の増加も含めて体制の充実に努めていく。

作元志津夫

市民フォーラム



●時代に即した新たな公契約

質問 公契約条例制定

変化に対応し、実効性のある取組を進めていくには公契約条例の制定が必要と考えるが、市長の考えを問う。

答 弁 市長

働き方改革の推進をはじめとする新たな課題への対応やコロナ禍がもたらした社会の激変は公契約施策のあり方を見直す契機となった。条例を制定する必要性として、1つ目は、労働条件の確保。義務付けることによる実効性の担保が必要である。2つ目は、市内企業優先策を展開するための明確な根拠。3つ目は、公契約の適正な履行には事業者の協力が不可欠であ

ること。公契約基本方針を見直し、制度基盤の整備が必要であり、公契約条例の制定に取り組んでいく。

岩田 淳

自民クラブ



●たばこ税を活用した意義ある政策実現に向けて

質問 地方たばこ税を活用した分煙環境の整備・推進

駅前広場などにおける、公共施設等への分煙施設の設置に対する見解を問う。

答 弁 総務部

改正健康増進法の趣旨を踏まえ、分煙強化の姿勢で取り組んだ。病院、学校、児童福祉施設など第一種施設に分類される施設は、原則、敷地内を禁煙。その他の第二種施設は、非喫煙者が望まない受動喫煙をすることがないように、分煙の強化を図った。更なる対策が必要な場合は対応していく。豊田市駅や新豊田駅の駅前広場には分煙施設を設置済み。再整備を行う際にも、現状の施設数を維持していく。その他の駅前広場についても、駅利用者の利用状況などを検証した上で判断していく。

窪谷文克

自民クラブ



●新豊田市商業活性化プラン

質問 新豊田市商業活性化プランの内容

大型商業施設の誘致についての本市の基本的な考え方と、消費者購買の市外流出の抑制策について問う。

答 弁 産業部

商業活性化プランでは、郊外型大型商業施設誘致ではなく、付加価値の高い商業・商品の創出に向けた施策を掲げ、消費の市外流出の抑制へ

取り組む。一つは中心市街地で多様な専門店の集積を促すとともに、地域や商店街を盛り上げる団体を育成し、市内消費を増やすための仕掛けづくりを進める。また、本市商業の魅力と価値を高めるため、農業や製造業など異業種との多様な連携を通じて、本市を代表する売れる商品のブランド形成と販売の促進を進める。

海老澤要造

自民クラブ



○地域共生社会における福祉の在り方
●持続可能な山村地域づくり

質問 (仮称)おいでん・さんそんプランの展望

山村地域において居住促進地区が設定されたが、設定範囲の考え方など居住促進地区設定による宅地供給促進を問う。

答 弁 企画政策部

居住促進地区は、集落のコミュニティ維持に繋がるよう、既存の居住地への集約化を前提にし、道路や水道などインフラへの必要以上の負担を抑えつつ、効率的かつ計画的な土地利用を図る考えから、市街化調整区域における開発基準等を参考に範囲を定めた。取組を開始した令和元年11月から令和2年11月までに、4件の農振除外の手続きが進んでおり、引き続き、空き地、農地等を活用した宅地供給を進め、山村地域の移住・定住を促進していく。

深谷とおる

自民クラブ



●安全な水道水の安定供給への取組

質問 水道水の安定供給

AIによる水道管路の劣化予測は単年度で終わらせるのではなく、複



質問 一般質問の小さいテーマ(中項目) **答弁** 回答した部局名
実際に質問した内容(小項目) 質問に対する市の担当部局の回答

数回の検証をすることで、より効率的な精度の高い水道管路の維持管理につながると思われる。今後の管路劣化予測の検討の考えを問う。

答弁 上下水道局

水道ストックマネジメント計画の見直しに合わせて、劣化診断に必要とされる漏水個所や漏水調査のデータを積み上げ、情報を蓄積し、より精度の高い、AIによる劣化予測の活用や新たな劣化予測手法の検討も視野に入れて、効率的、効果的な老朽化対策の推進を図っていく。

塩谷雅樹

市民フォーラム



●SDGs未来都市の実現に向けた取組

質問 オールとよたの取組

10年後のゴールを目指し、SDGs国際会議をどのように位置づけてレガシーを残し、今後の取組に生かしていくかを問う。

答弁 企画政策部

SDGs未来都市計画で掲げる2030年のあるべき姿は第8次豊田市総合計画で本市が目指す将来都市像「つながる つくる 暮らし楽しむまち・とよた」の実現である。会議に参加することで、参加者の誰もがSDGsを自分ごととして認知し、できる分野で一步を踏み出すきっかけとなることをレガシーとして目指す。オンラインの活用により、様々な国際会議への参加が可能となる。今後も海外の自治体との交流や情報交換を継続し、グローバルな視野と知見を広げていく。

ミライのフツをつくらう



未来都市とよた

SDGs未来都市とよたのロゴマーク

根本美春

諸派



●コロナ禍での駅前再開発より雇用と事業の持続
○コロナ禍での暮らしと健康を守る「公助」を

質問 中心市街地再整備は見直しを

豊田市駅西口のバスターミナル集約化と駅前通りのフルモール化事業について、どのような検討が行われているかを問う。

答弁 都市整備部

今後の中心市街地の再整備については、市民ニーズの変化や新型コロナウイルス感染症による経済情勢の変化等を踏まえて、現在、都心環境計画の見直しを行っている。具体的には、中心市街地の活性化との整合性や松坂屋豊田店閉店による影響、コスト縮減、施設の最適化を念頭に、豊田市駅西口でのペDESTリアンデッキやバスターミナルの再整備、豊田市駅東口での駅前広場整備等について、検討を進めているところである。

水野博史

自民クラブ



●緊急時におけるプッシュ型情報伝達

質問 避難判断水位の情報伝達

防災ラジオの3,000円での販売は令和2年度までとなっているが、防災ラジオ補助販売の延長についての方針を問う。

答弁 地域振興部

防災ラジオは平成30年度から3年間を期間とし、防災行政無線の難聴エリアや高齢者世帯15,000世帯を対象に想定し、販売価格3,000円で普及に努めてきた。災害対策に限らず、行政活動や住民自治など、広い分野での活用可能性、有用性が明らか

になってきた。加えて、災害の大規模化や激甚化に対応して、災害リスクの高い地域の高齢者世帯などへの更なる普及を促す必要があるため、令和3年度以降も現在と同様の期間・内容で、補助販売を継続する方向で進めていく。



防災ラジオ

日當浩介

市民フォーラム



●発展を続ける産業都市への取組

質問 次期産業振興プランの策定に向けて

スーパーシティ構想の採択に向けた取組など、産業をリードする都市であり続けるための施策についての考えを問う。

答弁 企画政策部

豊田市つながる社会実証推進協議会を中心に、AIやIoTといった先進技術を活用し、様々な実証事業に取り組んでいる。実証事業を積み重ね、早期の実装化につなげていくことで、本市のスマートシティ化を図るとともに、市内の中小企業にとって、新たなビジネスチャンスを生み出す環境づくりを進めていきたい。スーパーシティ構想は、国の財政支援のあり方など不明な点も存在することから、国の動向を注視しながら、対応を検討していく。

一般質問の様子は、豊田市議会ホームページから視聴できますので、ぜひご覧ください!





新型コロナウイルス感染症対策

12月定例会においては、傍聴自粛のご理解とご協力をお願いするなど、ご不便をおかけしました。市議会としては以下の対策を行い、一般質問や重要議案の審議・議決を行いました。引き続き感染症対策に努めていきます。

○議場への入場人数の制限

一般質問実施時には、本会議場に在席する議員は、交代制で2分の1程度とし、間隔を空けて着席しました。残りの議員と答弁予定のない部長等は、指定された別室のモニターで視聴をしました。

○アクリル板の使用

議長席、質問席、演壇、委員会室委員席では飛沫防止アクリル板を設置しました。

○換気

本会議、常任委員会は、常時扉を開放して実施しました。

○検温、消毒液の使用、マスクの着用

議場や委員会室に入る議員等は、検温を行うとともに、消毒液による手指消毒を行いました。また会議中は常時マスクを着用しました。

○傍聴自粛のお願い

感染拡大防止の観点から、議会傍聴を自粛していただくよう、ご理解とご協力をお願いしました。



本会議場の様子



別室で一般質問を視聴する様子

市議会の予定

3月市議会定例会は2月19日(金)開会予定です

ご意見・ご感想

「市議会だより」についてのご意見・ご感想、また、市議会へのご意見・ご要望もお受けしていますので、下記までお寄せください。

【宛先・お問い合わせ】

豊田市議会事務局

〒471-8501 豊田市西町3丁目60番地

TEL.0565-34-6665

FAX.0565-34-6566

Eメール gikai@city.toyota.aichi.jp

★代表・一般質問の様子を視聴できます★



豊田市議会
ホームページで

インターネット録画放送 <http://toyota-shigikai.jp>

豊田市議会 検索 「動画で見る代表・一般質問」をクリック!



「市議会だより」のバックナンバーや
会議録もご覧いただけます。

<http://toyota-shigikai.jp/movie.html>

一般質問の様子をスマートフォン等から
閲覧できるようになりました。

※パケット通信が必要になりますので、
携帯端末等での視聴はWi-Fi環境を
おすすめいたします。



ケーブルテレビで

ひまわりネットワーク 生中継&録画放送
チャンネル/121ch(ひまわりチャンネル)



FMラジオで

FMとよた(ラジオ・ラフィート)生中継
チャンネル/78.6MHz



豊田市議会は、古紙配合率70%の再生紙と植物油インキを採用しています。

※この冊子は、折込み「12月市議会定例会号」です。